

平成26年度

公立大学法人首都大学東京  
業務実績評価  
項目別評価(素案)

## 【項目別評価】

### 業務実績の検証

項目別評価の実施にあたって、法人から提出された業務実績報告書等を基に検証を行った。  
検証にあたっては、年度計画に記載されている各項目の事業の進捗状況及び成果等について、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行った。

検証は、法人からのヒアリングにより実施した。

### 業務実績の評価

業務実績報告書の検証及び特記事項等を基に、事業の進捗状況・成果を大項目ごとに1～4の4段階で評価した。

評 定	1... 年度計画を大幅に上回って実施している。 2... 年度計画を順調に実施している。 3... 年度計画を十分に実施できていない。 4... 業務の大幅な見直し、改善が必要である。
--------	--

年度計画の大項目ごとの評定及び評定説明は、以下のとおりである。年度計画の項目に沿って記載する。

### 首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

#### 1 教育に関する目標を達成するための措置

##### (1) 教育の内容等に関する取組

## 【入学者選抜】～意欲ある学生の確保～

評定	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評定説明)

- 各学部とも一般選抜において高い志願倍率を維持しており、評価できる。また、新たな選抜方法であるグローバル人材育成入試の実施や、理工学系生命科学コースでの英語による受験枠の導入決定、学部入試区分毎の入学者の成績を調査・分析し、指定校推薦入試の充実に取り組むなど、入試改善の努力を行っている。
- 大学院への志願者確保を図るため、奨学金の運用改善、TA制度の改正、就職支援の強化など各種の支援策を強化している。

## 【教育課程・教育方法】

評定	1	年度計画を大幅に上回って実施している。
----	---	---------------------

(評定説明)

- TA制度を拡充し、STAやSAを新設するとともに、TAの従事対象時間の拡大を図っていることは、学部生の能動的な学習の促進に寄与するほか、大学院生の教育・支援の充実という面においても、高く評価できる。
- SATOMU、日本語・日本事情短期集中コース及び異文化交流機会の拡充を実施するとともに、新たな国際学生宿舎を確保するなど留学生の受け入れ体制の整備に積極的に取り組んでいる。
- 中長期で海外へ留学する学生が倍増しており、評価できる。留学に対する意欲向上施策及び事前・事後研修の充実や、海外短期研修先の中国への拡大、新規学生交流協定の締結など、留学生の派遣に関するきめ細やかな支援を展開している。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(2) 教育の実施体制等に関する取組

#### 【教育の実施体制】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・図書館の開館時間の延長により、学生の利便性向上を図るとともに、荒川館においてはアクティブラーニングが可能な空間を設けるなど、学生のニーズに応じた学習環境の整備を進めており、入館者数も増加している。

#### 【教育の質の評価・改善】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・授業改善アンケートで集約した改善事例を学内限定でFDウェブサイトにて公開・共有しており評価できる。
- ・学長が全部局に対し重点的に取り組むべき教育改革の課題を指定し、教育改革を全学的に推進しているとともに、教員からの提案による教育改革も促進するなど、双方向から取り組んでいる。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(3) 学生支援に関する取組

#### 【全学を挙げた取組の実践】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・各学部の教員や事務室の協力のもと、高い進路把握率を維持するとともに、進路情報システムを活用し、新たにWebにより進路情報を登録する機能の導入を進めている。
- ・障がいのある学生を支援する学生スタッフを登録し、要望に応じて派遣するなどサポート体制を充実したことは評価できる。
- ・平成27年度の国際副専攻コース開設に向け、その体制を整備した。

#### 【キャリア形成支援】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・学生の就職・進学を含めた進路情報を一元的に管理するシステムの構築や、各キャンパスごとの学生キャリア支援の実施、OB・OGを活用したキャリアサポートなど、幅広い支援が行われている。

#### 【健康支援】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・非常勤医師の配置による診療体制の充実を図るなど、学生の健康管理体制の整備を進めており、評価できる。
- ・学生のメンタルヘルス対策として、教職員を対象とする学生支援対応研修を実施するとともに、学生リーフレットの配布による学生相談室の周知を行うなど、学生の心身両面の健康を維持するためのきめ細やかな施策を実施している。

**【経済的支援】**

評定	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評定説明)

- ・授業料減免制度について、申請要件や所得の審査基準の見直し等を行い、支援を必要とする学生への適切な支援体制を構築するよう努めており、評価できる。

**【留学・留学生支援】**

評定	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評定説明)

- ・国際化基本方針に基づき、国際化行動計画の素案を作成するなど、国際化を促進するための全学的な展開が行われている。また、国際センター専任教員の採用決定により、企画機能及び留学生支援体制を充実させた。
- ・留学生数が受入と派遣の双方で着実に増加しており、教職員に対する研修・講演会の積極的な実施や、日本人学生と留学生との各種交流機会の拡大など、留学及び留学生への支援策も充実しつつある。

**【障がいのある学生への支援】**

評定	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評定説明)

- ・障がいのある学生への支援スタッフの養成及び本支援に対する意識啓発のための各種講習会を積極的に開催している。支援スタッフだけでなく、一般の学生も参加できる講習となっていることを評価するとともに、意識醸成の効果を期待する。

**【学内外における学生活動への支援】**

評定	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評定説明)

- ・留学生への日本語学習支援を行う国際交流ボランティア団体に対し、日本語学習に関する勉強会の実施や、連携してイベントを開催するなど、学生ボランティア団体への支援を行っており評価できる。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 研究に関する目標を達成するための措置

(1) 研究の内容等に関する取組

評定	1	年度計画を大幅に上回って実施している。
----	---	---------------------

(評定説明)

- ・総合研究推進機構を新設するなど、世界トップレベルの研究を推進・支援する体制を整え、力強くその後押しを行っていることは評価できる。
- ・新たに3つの部局附属研究センターを設置し、新大都市リーディングプロジェクト基金を活用した支援を実施するなど、研究促進への努力が続けられている。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置

2 研究に関する目標を達成するための措置

(2) 研究実施体制等の整備に関する取組

評定	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評定説明)

- ・教員の研究活動を一貫して総合支援する体制を整備しており、その結果として、科研費の新規申請件数の増加や基盤研究Sに採択されるなどの成果も出ている。
- ・国際的な研究拠点形成を目指し、外国の大学・研究機関との共同研究に結び付くよう教員へ積極的な支援を行っていることは評価できる。
- ・ダイバーシティ推進の取組により、徐々にだか理念が浸透しており、研究支援制度の実施や一時保育施設の開設など、ワーク・ライフ・バランスを目的とした各種の制度整備を行っていることは評価できる。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置  
3 社会貢献に関する目標を達成するための措置  
(1) 都政との連携に関する取組

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・東京都各局との多様な連携の強化を図っており、都各局や関係機関に対して情報や研究成果を提供するとともに、研究のための情報を収集している。
- ・都の試験研究機関との連携による共同研究は、地域や都民と密接に結び付いた課題が多く、その貢献は評価できる。

首都大学東京に関する目標を達成するためにとるべき措置  
3 社会貢献に関する目標を達成するための措置  
(2) 社会貢献等に関する取組

#### 【産学公の連携推進】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・地域課題・技術課題の解決に貢献すべく、都内の企業や各種団体に対し、教員の研究情報の積極的な発信を継続している。

#### 【地域貢献等】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・多摩地域を支える事業者等との交流による連携、都民ニーズの高い公開講座の開講など、地域貢献活動に取り組んでいる。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置  
1 教育に関する目標を達成するための措置  
(1) 教育の内容等に関する取組

#### 【入学者選抜】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・広報コンサルタントの活用をはじめとする大学の認知度向上に向けた多面的かつ戦略的な広報活動を展開するとともに、専門スタッフ及び教職員による企業訪問や企業推薦入試制度の実施など、入学者確保のための積極的な取組が行われたことは評価できる。
- ・認知度向上のための種々の取組の結果、前年度と同数の入学志願者を確保しており、今後更なる成果を期待する。

#### 【教育課程・教育方法】

評定 1 年度計画を大幅に上回って実施している。

(評定説明)

- ・運営諮問会議の答申などを踏まえ、産業界の現場ニーズに対応したカリキュラムの見直しを積極的に進めており、「次世代成長産業分野高度人材養成プログラム」を実施し、平成27年度から「事業アーキテクト」コースを設置するなど、種々の取組は評価できる。
- ・先進的な取組であるディプロマ・サブメントの改善に取り組み、学生の学習達成状況を明確に把握できるようになったことを高く評価する。
- ・社会的要請に対応したカリキュラム開発として、「航空整備士のグローバル化に対応する育成プログラ

ムの調査・開発事業」にも取り組み、航空整備業界で求められる人材の育成に必要なスキル標準を策定したことは評価できる。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 教育に関する目標を達成するための措置  
(2) 教育の実施体制等に関する取組

【教育の実施体制】

評定 1 年度計画を大幅に上回って実施している。

(評定説明)

- ・ A P E N加盟大学等の拡大を通して、P B L教育の普及・拡大に貢献し、プレゼンスの向上、様々な機関との連携強化を図っている。特に、加盟大学等とのグローバルP B Lの実施により、大学院生にグローバル教育の機会を提供し、グローバルに活躍できる人材育成を推進しており、評価できる。
- ・国内の大学や企業と連携するe n P i Tの取組を通して、他大学等との連携した教育を展開していることは、大学間連携が要請される中、評価できる。
- ・インターンシップ協力企業等を年々増加させており、機会拡大を実現している。

【教育の質の評価・改善】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・先進的な取組であるディプロマ・サプリメントの改善に取り組み、教育の質保証を強力に推進している。
- ・情報事故防止や研究費の不正使用防止に向け、教職員の研修など積極的な取組が見られる。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 教育に関する目標を達成するための措置  
(3) 学生支援に関する取組

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・ブレンディッド・ラーニングの実施により、学生の通学負担を軽減するだけでなく、教育の質の向上に取り組んでいる。また、遠隔授業を行うことにより、学生に学びやすい環境を提供している。
- ・「A I I Tキャリアクラブ」を創設し、起業や就職などの各種のキャリア支援事業に取り組んだことは評価できる。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 2 研究に関する目標を達成するための措置  
研究に関する取組

【研究の内容等】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・P B L教育に関する研究を推進し、P B Lにおける学生の評価において、R u b r i cを活用した新しい評価手法を導入することにより、評価の明確化、客観化に取り組んだことは評価できる。
- ・ネットワークサービスプラットフォーム研究所やA I I T産業デザイン研究所などを中心に開発型の研究に取り組んでいる。

【研究実施体制等】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・教員がそれぞれの専門分野に基づき未来技術動向を作成し、それを基に産業界から意見を聴取することで、ニーズを把握し、研究に反映する仕組みを構築したことは評価できる。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

(1) 都政との連携に関する取組

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・東京都や地元区の各種委員会委員としての参加や「A I I Tソリューションサービス集」の自治体及び企業等への配付等、シンクタンク機能を発揮し、その役割を果たしている。

産業技術大学院大学に関する目標を達成するためにとるべき措置

3 社会貢献に関する目標を達成するための措置

(2) 社会貢献等に関する取組

【産学公の連携推進】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・金融機関との連携による企業内中核人材育成懇話会の開催、東京商工会議所の産学公連携事業への参画などを通して、多様な社会貢献活動を推進したことは評価できる。
- ・e n P i Tに加え、新たに文部科学省事業2事業が採択され、外部資金の獲得額が拡大したことは評価できる。

【地域貢献等】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・A I I Tマンスリーフォーラムを継続的に実施し、専門職コミュニティの形成を推進した。
- ・ラーニングフェロー制度の導入に向け、運営諮問会議から意見を聴取することで、制度の改善に資する知見を得た。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 教育に関する目標を達成するための措置

(1) 教育の内容等に関する取組

【入学者選抜】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・学外へのカレッジ・アイデンティティ(C I)の浸透を目指し、プロモーションビデオの配布、学生動画コンテスト最優秀賞のウェブサイトへの掲載、本校OB教員を活用した「理科・技術教育サポーター」の小中学校や地域イベントへの派遣など、積極的なP R活動を展開している。

【教育課程・教育方法】

評定 1 年度計画を大幅に上回って実施している。

(評定説明)

- ・教育課程・教育方法の改善に向けて、先進校を訪問し、多くの情報を得て検討を行っていることは評価できる。J A B E E 受審を視野に入れた教育内容の整備、エンジニアリングデザイン教育の導入に向けた準備と試行などを進めている。
- ・グローバル・コミュニケーション・プログラムのほか、新たに海外インターンシップ、グローバルエンジニア育成プログラムを実施するなど、国際的に活躍できる技術者育成のための多様かつ実践的なプログラムを整備しており、学生の満足度も高いことから高く評価できる。
- ・新たにキャリア支援センターを設置し、学校全体での体系的なキャリア形成支援体制の構築に取り組んだ。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 教育に関する目標を達成するための措置
- (2) 教育の実施体制等に関する取組

【教育の質の評価・改善】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・学生自身が全科目の学習到達度を測る自己評価システムを構築したことは評価できる。学生が自己評価を行うことにより、自己学習のP D C Aサイクルをまわすことができるとともに、学生の自己評価を基にした教員の授業内容改善につながるP D C Aサイクルも構築した。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 教育に関する目標を達成するための措置
- (3) 学生支援に関する取組

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・国際交流ルームG C Oの運営や、学生の多様な課外活動への支援など、積極的に学生支援策の充実に取り組んでおり評価できる。
- ・カウンセラーの派遣日数を増加することで、より多くの学生、さらには保護者からの相談にも対応できるようになるなど、学生相談体制を強化した。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 2 研究に関する目標を達成するための措置
- 研究に関する取組

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・外部講師を招き、科研費獲得に向けた若手教員への支援を試行することで、科研費の応募件数の増加や指導を受けた教員から採択者が出るなどの成果が出ており、評価できる。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 3 社会貢献に関する目標を達成するための措置
- (1) 都政との連携に関する取組

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・東京都立産業技術研究センターとの連携による技術相談を継続的に実施するとともに、中学校教員向けの3 Dプリンタに関する研修会や学生のインターンシップ派遣など、新たな連携に精力的に取り組むことで連携を深めている。

都立産業技術高等専門学校に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 3 社会貢献に関する目標を達成するための措置
- (2) 社会貢献等に関する取組

【産学公の連携推進】

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・地域連携委員会、T A S Kプロジェクト、産学公連携センターそれぞれを通じた地域との連携強化による継続的な取組のほか、運営協力者会議の構成企業と連携し、学生の様々な教育研究活動を支援する取



組を新たに開始したことは評価できる。

#### 【地域貢献等】

評価	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評価説明)

- ・地元自治体からの委託による若手技術者支援講座や、東京都立産業技術研究センターとの連携講座を実施し、引き続き中小企業のニーズに対応した人材育成に力を入れるとともに、その活動を充実させている。

1	法人運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置 組織運営の改善に関する取組
---	---

#### 【教員人事】

評価	1	年度計画を大幅に上回って実施している。
----	---	---------------------

(評価説明)

- ・社会情勢の変化を踏まえて、2大学1高専それぞれの特質に応じた新たな教員人事制度を導入するとともに、新制度への円滑な移行や補完する諸制度の検討・構築を行ったことは評価できる。
- ・特に、ディステイングイッシュト・プロフェッサー制度や研究重点教員支援制度の導入は、教員にインセンティブを付与するとともに、研究活動を支援することとなり、評価できる。

#### 【職員人事】

評価	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評価説明)

- ・法改正等に伴い、職員人事制度の見直し及び運用の改善を行うなどの適切な対応を行い、職員の意欲・能力を発揮させるよう取り組んでいる。
- ・採用試験結果やアンケート結果からその効果を検証し、質の高い職員採用につながる取組を継続している。
- ・プロ職員の育成を目指した研修の充実を図っており、特に英語力向上のための支援体制強化を新たに実施したことは評価できる。

#### 【各センター組織の機能強化】

評価	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評価説明)

- ・首都大に研究戦略企画室とUR A室から構成される「総合研究推進機構」を設置し、新たな研究支援体制を構築した。
- ・外部資金について、提案公募研究の採択件数、共同研究の件数・金額が前年度より増加しており、研究支援の成果が出ている。

2	法人運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置 業務執行の効率化に関する目標を達成するための措置 業務執行の効率化に関する取組
---	---

評価	2	年度計画を順調に実施している。
----	---	-----------------

(評価説明)

- ・法人共通業務である出勤整理業務について、出勤管理システムの導入や新たな業務マニュアルの作成・共有をしたことにより、業務水準の向上や管理体制の強化を進めた。

財務運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 自己収入の改善に関する目標を達成するための措置  
自己収入の改善に関する取組

評価 2 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・外部資金獲得に向けた教員支援メニューの拡充、払込手続きの簡略化の検討等寄附金獲得に向けた取組など、自己収入の増加を図る取組が継続されている。

財務運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 2 経費の節減に関する目標を達成するための措置  
経費の節減に関する取組

評価 2 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・施設整備計画等に基づき、空調機器等について、省エネルギー効果の高い機器への更新を進め、法人全体で電気使用量を前年度比5.1%削減したことは評価できる。

財務運営の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 3 資産の管理運用に関する目標を達成するための措置  
資産の管理運用に関する取組

評価 2 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・学内施設の有効利用を図るため、料金改定を行い、利用向上に向けた幅広い周知を行ったことは評価できる。
- ・知的財産の運用の効率化を図るため、書類のテンプレート化や外国出願のデータベース化の準備を進め、知財収入が増加したことは評価できる。
- ・きめ細やかな資金運用により、運用益を確保している。

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 1 自己点検・評価等に関する目標を達成するための措置  
自己点検・評価等に関する取組

評価 2 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・首都大においては、「教育」「国際化」を重点項目テーマとした「平成25・26年度自己点検・評価報告書」を作成している。
- ・産技大においては、分野別認証評価の受審に向けて、自己評価書作成WGを設置し、自己評価書の原案を作成している。
- ・高専においては、自己点検・評価書を作成し、運営協力者会議において外部評価を受けるとともに、外部評価の内容も含めて、ホームページにおいて公表している。

自己点検・評価及び情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置

- 2 情報提供等に関する目標を達成するための措置  
情報提供等に関する取組

評価 3 年度計画を十分に実施できていない。

(評価説明)

- ・首都大において深刻な情報セキュリティ事故が立て続けに発生したことは極めて問題であり、重要な

個人情報管理を管理する立場にある大学のリスク管理が甘かったことを露呈した事件である。特定の部署や個人の責任に帰する問題ではなく、組織全体の意識、育成、システムの問題であることを改めて認識し、根本的な見直し・改善を含めた、再発防止に向けた取組が急務である。

- ・露出度の高い広告等による認知度向上や記事配信サービスの活用による情報発信力の強化など、広報活動に関する積極的な取組は評価できる。

その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

- 1 施設設備の整備・活用等に関する目標を達成するための措置  
施設設備の整備・活用等に関する取組

評価 2 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・空調機器等の省エネルギー性の高い機器への更新及び夏季・冬季における使用電力の削減目標を構成員に周知する等の工夫・努力により、環境確保条例で定める温室効果ガス排出量削減目標を達成しており、評価できる。

その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

- 2 安全管理に関する目標を達成するための措置  
安全管理に関する取組

評価 2 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・標識、身障者用トイレの設置等により、キャンパスのバリアフリー化を推進したことは、多様な学生・教職員のための環境整備として重要であり、時宜に合う取組として評価できる。
- ・危機管理の充実、特に防災に関する意識を改善するための取組として、危機管理マニュアルの再検証、緊急連絡体制の見直し、備蓄品・資機材を利活用した訓練など、積極的な取組を評価する。

その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

- 3 社会的責任に関する目標を達成するための措置  
(1) 環境への配慮に関する取組

評価 2 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・環境確保条例で定める温室効果ガス排出量削減目標の達成のため、空調機器等の省エネルギー性の高い機器への更新及び夏季・冬季における使用電力の削減目標を構成員に周知する等の工夫・努力を行い、目標を大幅に上回って達成したことは評価できる。

その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

- 3 社会的責任に関する目標を達成するための措置  
(2) 法人倫理に関する取組

評価 2 年度計画を順調に実施している。

(評価説明)

- ・組織として重要な、セクハラ・アカハラの問題の対応に際し、他大学等の取組の調査や外部専門家に助言を求めるなど、積極的に取り組んでいることは評価できる。またセクシュアル・マイノリティへの差別防止にも取り組んでおり、高く評価できる。
- ・文部科学省のガイドラインの改正を反映した規則等の策定や委員会での審議など、研究活動における不正行為防止に取り組んでいる。

その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置

4 国際化に関する目標を達成するための措置

国際化に関する取組

評定 2 年度計画を順調に実施している。

(評定説明)

- ・ 2大学1高専の国際化に向けた取組を、法人が強力に後押ししていることを評価する。
- ・ 都のアジア人材育成基金を活用し、首都大大学院博士後期課程にアジアの優秀な学生を受け入れ、人材育成を行うとともに、高度な研究活動を推進した。帰国した修了生のネットワーク構築は貴重な成果であり、評価できる。
- ・ E P Aに基づき来日した看護師候補者及び介護福祉士候補者に対して、国家試験に向けた学習支援を実施した。特に後者については、高い合格率を達成している。